

食みたね住マイル

「農業は登山みたいなもの。
試行錯誤の毎日を繰り返しながら
人間臭く生きたいです。」



みたね住(ス)マイルでは
三種町で頑張る皆さんを
どんどん紹介していきます!

浜田に移住し、稲作と野菜を栽培・販売し、食べて
つながる「イワンファーム」を営む、森山大輔さんを
訪ねました。



販売は消費者との信頼関係が大切
品質にこだわった有機栽培を

森山大輔さん(42)は東京で外資系金融機関に勤めていましたが、自然豊かな場所で農業を営みながら子どもたちを育てたいと一念発起、NPO法人一里塚(清水昭徳会長)と出会ったことで三種町に住む決意をし、平成25年3月に家族5人で移住。一里塚や農家での

研修を行った後、青年就農給付事業と移住就農まるごと支援事業等を活用して就農し、2年目を迎えました。

「生まれたばかりのヨチヨチ歩きで、上手くいかないこともたびたび」あるそうですが、野菜有機栽培にこだわり、個人販売を主として、宅配で月一回から多い方には毎週、とれたての野菜を届けています。

お客さんの多くは、東京などで行われる農業イベントに出店して出会った方です。お互いの顔が見える販売「たべてつながる!」をテーマに、農と食を軸にいのちのつながりをお互いあじわえる場を多くの

方に提供していきたいとのこと。遠くは京都にもファンがおり、飽きさせないようにと、季節ごとに約100種類の野菜を一人で育てる忙しい毎日です。

町に来て印象深いことは、初めての稲刈りが間に合わなくて雪が降りそうになった時、地域の人たちが手伝ってくれたこと。

「とても感謝しています。皆さんの暖かさにもふれ、移住して本当によかったと感じます。」と語る森山さん。現在は浜口小学校PTA会長を務めたり、地域の行事に積極的に参加して交流を深めるとともに、農業体験や、田植え歌の復活など、イベントを開催して町での生活を楽しみながら、地域への恩返しにもつながればと考えているそうです。

「農業は登山みたいだと思います。計画を立てるのはもちろん、失敗した時の引き際を考えることも重要。それを踏まえてひたすら頂上を目指す。試行錯誤の毎日です。」



イワンファームの由来は「イワンのバカのイワン」のように生きたい。もう一つ、東京の行きつけだった飲み屋の名前を受け継ぎました。

漬物もなかなかの評判なんですよ



冬期は漬物なども作り、お客さんに通年のお届けができるように頑張っています。

ですが、とてもやり甲斐を感じます。」そう話す森山さんの笑顔がとても印象的でした。

今後の目標は、仲間を募ってより高品質の野菜を多品種で育て、より多くの方に三種の新鮮野菜を届けること。興味のある方は是非「イワンファーム」までご連絡を。

◆イワンファーム

0800-80872

<http://ivanfarm.com>

農業を始めたい方
応援します!

農業研修や経営支援など、国、県、町が連携して、さまざまなメニューを用意しています。関心のある方は、お気軽に農林課までお問い合わせください。

◆問い合わせ先

農林課 農政係

085-4826